

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点 本郷通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思いました。2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」と歩きました。

江戸五色不動の「目黄不動尊」が明治通りの大関横丁交差点先の「永久寺」に、「目白不動尊」が目白通りの高田一丁目交差点近くの「金乗院」に、「目黒不動尊」が目黒通りの大鳥神社交差点近くの「龍泉寺」にありました。

今回は「目赤不動尊」のある「本郷通り」を歩いています。写真上右は本郷通りの道路名標識（都道 455 号線）で、これから先の東大農学部前交差点で国道 17 号線から名称が都道 455 号線に変わります。本郷通りは千代田区神田錦町一丁目の神田橋から文京区、豊島区を経て北区滝野川一丁目の飛鳥山交差点に至る延長 8 k m の道です。今回は起点の千代田区の神田橋から文京区本郷の東大赤門前まで歩きました。

今回は文京区本郷の東大赤門前から終点の北区滝野川の飛鳥山交差点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。桜の写真は以前の訪問時に撮りました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します

東大赤門前から東大の堀に沿って歩くと、右側に東大正門（写真右）があります。1912 年完成、登録有形文化財に登録されています。この門を入り構内を直進すると安田講堂があります。秋には銀杏並木が見事です。寅さん歩 197 東京の紅葉・黄葉—5 をご覧ください。



〔本郷弥生交差点〕

文京区本郷六丁目

最寄駅 東京メトロ南北線 東大前駅

東大の構内が道路で切れた所が本郷弥生交差点（写真下右）です。左へ行くと小石川方面、右は言問通り（都道 319 号線）の起点になります。

右に行った先で弥生式土器が出土して弥生の地名の由来になっています。



〔東大農学部前交差点〕

文京区弥生一丁目

最寄駅 東京メトロ南北線 東大前駅

言問通りを挟んで先は東大農学部の構内です。写真下右は東大農学部正門です。



国道 17 号線はここから左折します。本郷通りは都道 455 号線と名を変えて直進です。将軍御成道 岩槻街道の説明板を見つけました。「この街道は江戸のころ将軍が日光東照宮にお参りするときに通る道であることから御成街道といわれ、人形のまち・岩槻に通じている道で岩槻街道ともいわれた。現在の東京大学農学部前の本郷追分で、旧中山道と別れ、駒込へと直進、王子、岩淵を経て荒川を渡り、岩槻へと向かった。現在の名は本郷通りである」と記載（一部略）

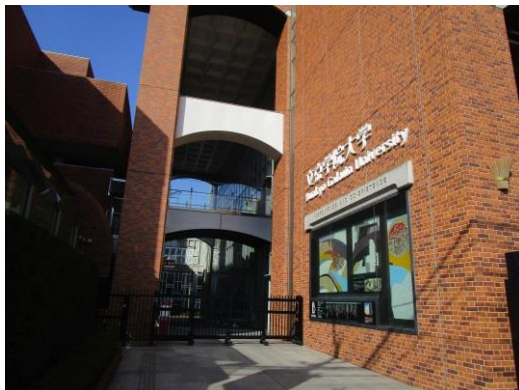


東大農学部正門を入ると左側に「犬と人の像」（写真左）があります。渋谷駅まで毎日ご主人を送迎、ご主人が亡くなった後も10年間渋谷駅で待ち続けた「忠犬ハチ公とご主人の上野英三郎博士」の像です。ご主人は東京帝国大学農学部教授で勤務中に逝去されました。忠犬ハチ公の没後80年の2015年に建てられました。

〔向丘一丁目交差点〕 文京区向丘一丁目

最寄駅 東京メトロ南北線 東大前駅

東大前駅の先の左手に文京学院大学が（写真下左）あります。その先が向丘一丁目交差点（写真下右）です。右へ行くと日本医科大学、根津神社方面です。



交差点左のKRDビル1階（写真下左）に「さんぽみち総合研究所」があります。全国のウォーキング大会にバスで参加できる”バスでウォーク”を開催しています。寅次郎、“バスでウォーク”が始まった頃からお世話になりました。自分で交通機関や宿の手配をする必要がなく、安価で大会の前後には観光付と楽しませていただきました。YRのステーションも運営しています。寅次郎、新しくアプリを使ったYR「文京の坂113」の紹介をしています。JVAのHPの「平野寅次郎のYR散歩」をご覧ください。FWAのHPからリンクできます。写真下右はその先右側にある浄心寺でユニークな像が立っています。この辺りは桜が見事です。



〔向丘二丁目交差点〕 文京区向丘二丁目

最寄駅 東京メトロ南北線 本駒込駅

向丘二丁目交差点（写真下左）を左へ行くと白山上方面、右は谷中方面です。



〔駒込土物店跡〕 文京区本駒込一丁目 大栄寺門前

最寄駅 東京メトロ南北線 本駒込駅



駒込小学校前交差点があり右へ行くと田端方面です。交差点の左側にある大栄

寺門前（写真上左）に駒込土物店跡（こまごめ つちもの たなあと）の説明板、右側には碑（写真上右）がありました。

説明板には「ここは神田、千住と共に江戸三大市場の一つであり、幕府の御用市場であった。起源は元和年間（1615～24）といわれている。初めは近郊の農民が野菜をかついで江戸に出る途中、大栄寺境内の“さいかちの木“の下で毎朝休むことを例とした。すると付近の人々が新鮮な野菜を求めて集まったのが起こりといわれる。土地の人々は”駒込辻のやっちゃ場“と呼んで親しんだ。富士神社一帯は駒込ナスの生産地として有名でありナス、大根、人参、ごぼうなど土のついたままの野菜である”土物“が取引されたので”土物店“ともいわれた。正式名は”駒込青物市場“で1929年（昭和4年）からは”駒込青果市場“と改称した。道路の拡張などで1937年（昭和12年）豊島区へ移転しました」と記載。

〔目赤不動尊〕 文京区本駒込一丁目

最寄駅 東京メトロ南北線 本駒込駅

お待たせしました。江戸五色不動尊の目赤不動尊が祀られている南谷寺（写真下左）です。門を入った右側に不動堂（写真下右）があります



説明板には「この不動尊は、もとは赤目不動尊と言われていた。元和年間（1615年～24）万行和尚が、伊賀国（現在の三重県）の赤目山で、黄金造りの小さな不動明王像を授けられ、諸国を巡り、駒込の動坂の地に庵を結んだ。寛永年間（1624年～44年）、鷹狩りの途中、動坂の赤目不動に立ち寄った三代将軍徳川家光から、現在の地を賜わり、目赤不動尊にせよとの命で、この地に移った。それから目赤不動尊として、いっそう庶民の信仰を集めたと伝えられている」と記載されています。

寅さん歩 10 江戸五色不動めぐりをご覧ください。
動坂は JVA の HP 平野寅次郎 YR 散歩 No24
文京の坂 113 駒込ブロックをご覧ください。
FWA の HP からリンクできます。



〔吉祥寺〕 文京区本駒込三丁目

最寄駅 東京メトロ南北線 本駒込駅

山門脇の説明板には[1458 年（長禄 2 年）太田道灌が江戸城築城の際、井戸の中から「吉祥」の金印が発見されたので、城内（現在の和田倉門内）に一字を設け、「吉祥寺」と称したのが始まりという。1591 年（天正 19 年）に現在の水道橋一帯に移った。現在の水道橋辺りにあった橋は吉祥寺橋と呼ばれた。1657 年（明暦 3 年）の大火で類焼し、現在地に七堂伽藍を建立し移転。曹洞宗の諏訪山 吉祥寺となった。僧侶の養成機関として駒沢大学の前身の梅檀林（せんだんりん）を持ち、一千余名の学僧が学び、当時の幕府の昌平坂学問所と並び称された。写真下左は山門、写真下右は境内の見事なしだれ桜です。二宮尊徳、榎本武揚などの墓があります。寅さん歩 49 健康ご利益めぐりー11 文京区ー2 をご覧ください。



〔駒込天祖神社〕 文京区本駒込三丁目

最寄駅 東京メトロ南北線 本駒込駅

本郷通りの右側を歩いていたら、右側に天祖神社入口の石標があり、足が進み入りました。江戸時代は駒込神明宮と呼ばれた駒込村の総鎮守です。
写真下左は入口、写真下右は拝殿です。



〔富士神社〕 文京区本駒込五丁目 最寄駅 JR 駒込駅

富士神社入口の交差点を右に入ると富士神社です。1572 年（天正元年）創建で本郷本富士町から現在地に移ってきました。江戸期の富士信仰の拠点で現在も7月1日に山開きが行われています。写真下左が入口、写真下右の石段を上がると拝殿があります。富士神社付近一帯は駒込ナスの生産地でした。
寅さん歩 25 東京の富士塚めぐりー2（文京区）をご覧ください。



〔上富士前交差点〕 文京区本駒込二丁目 最寄駅 JR 駒込駅



上富士前交差点（写真上右）で不忍通り（都道 437 号線）と交差します。左へ行くと護国寺方面、右へ行くと千駄木方面で本郷通りは直進です。
交差点を渡ると、左側の奥に六義園正門（写真下左）があります。
先の駒込駅側には染井門がありますが、桜や紅葉の時期にのみ開門されます。
この先（写真下右）で文京区から豊島区へ入ります。

**寅さん歩 136 江戸・東京（23 区）の百名山-6 及び寅さん歩 323 半径 30 分以内
—3 六義園をご覧ください。**



右手に J R 駒込駅を見ながら坂を下ると左側に女子栄養大学があります。
寅さん歩 76 江戸・東京の祭—7（豊島区の大学祭）及び寅さん歩 379 半径 30 分以内—22 本郷通りをご覧ください。その先左側は下町情緒がある“しもふり銀座”（写真下右）があります。ここからは北区です。



本郷通りは坂を下り、坂を上り突き当りの交差点（写真下右）を左折します。
右へ行くと田端方面です。



左側は旧古河庭園（写真下左）です。正門を入ると新型コロナ対応の検温，手指消毒用のテントがあります。何回も来ていますが今まででは見られない光景です。西ヶ原一里塚（写真下右）を過ぎると右側が飛鳥山です。寅さん歩 324 半径 30 分以内—4 旧古河庭園及び半径 30 分以内—20 本郷通りをご覧ください。



この辺りは渋谷栄一のゆかりの地です。詳しくは寅さん歩 348 東京の博物館めぐり—35 北区—1 及び 349 北区—2 をご覧ください。
寅さん歩 378 半径 30 分以内—21 本郷通り（七社神社）及び寅さん歩 364 半径 30 分以内—12 旧渋谷家飛鳥邸をご覧ください。

〔飛鳥山交差点〕 北区滝野川一丁目

最寄駅 都電荒川線 飛鳥山停留場

本郷通りはここまでの表示（写真下左）がありました。前方の飛鳥山交差点は左から明治通り（都道 122 号線）が来て、左折して王子駅方面に向かいます。飛鳥山交差点では都電荒川線（通称 東京さくらトラム）が一般車両と共に通

ります。寅次郎はここから都電荒川線に乗ると約 20 分で家に帰れます。



これにて見所一杯の本郷通りの完歩です。沿道に多くの大学があるのはさすが文京区です。桜・バラ・銀杏の季節にゆっくりと歩きたい道でした。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約 600 里（約 2400 km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川（現在の江東区深川）の芭蕉庵を出発、5 月 21 日日光から 18 km の地点（江戸深川から 162 km）に到着しました。芭蕉は日光から知人のいる那須の黒羽（栃木県北東部にあった黒羽町で 2005 年 10 月 1 日大田原市に編入されています）に向かっています。寅次郎は黒羽まであと 49 km です。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝